

第2回 日向市立地適正化計画策定委員会 議事要旨

件名	第2回 日向市立地適正化計画策定委員会
日時	令和2年1月17日（金）14：00～16：00
会場	日向市役所4階委員会室
出席者	座席表のとおり
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 委員長あいさつ</p> <p>3. 協議事項</p> <p>(1)第1回委員会の要旨について</p> <p>(2)(案)まちづくりの方針と誘導方針・区域について</p>
委員	<p>【津波避難距離の考え方について】</p> <p>区域設定の判断指標として津波避難場所から500m圏を一律で設定しているが、健常者と高齢者、障がい者等も同じ考えで圏域設定するのはどうなのか。</p>
事務局	<p>現在、市の防災部局で設定している区域は約660m圏域であり、地震発生から避難行動を始めて津波到達までの約17分など考慮して設定されています。今回、それより狭い500m圏域で検討したところでもあります。</p> <p>ただし、これはハード面だけで防災対策を考えるのではなく、消防団や自治会等との連携などソフト面を含めた訓練や対策も市として取り組んでいくことで考えています。</p>
委員長	<p>【市街化区域と居住推進区域について】</p> <p>居住推進区域の設定に図示されている「青色ライン」が市街化区域、「赤の斜線」箇所は居住推進区域（案）としての検討エリアという認識でよいか。</p>
事務局	<p>そのような認識で表示しています。</p>
委員長	<p>用途地域内（市街化区域内）でも居住推進区域に含まれない区域もあるということによいか。</p>
事務局	<p>【建築行為の届出制について】</p> <p>居住推進区域に含まれない区域も出てきます。</p> <p>居住推進区域以外については、一般的な建築行為は可能であり、一定規模の宅地開発等を行う場合には、市に届出が必要となります。</p>

委員	<p>【歴史的な史跡や既成市街地の保全について】</p> <p>細島地区の漁協の上の方には、多くの空き家が発生しており、その対策はどうするのか。また、細島地区の歴史的な史跡や風光明媚な風景をどのように残していくのか考えを聞かせて欲しい。</p>
事務局	<p>市域内では、美々津の重要伝統的建造物群保存地区に関しても同様の課題があります。現在、市の各部署で移住・定住、空き家対策、景観形成に向けた取り組みを進めています。</p> <p>また、細島地区は、景観形成地区であり、今後も様々な関係部署や施策と連携しながら効果的に取り組んでいくことには変わりはありません。</p>
委員	<p>【関連計画との整合・連携性について】</p> <p>この資料では、他の政策（地域包括ケアシステム等）との連携が市民から分かりにくい部分だと考えます。国や市の方針、施策について連携や関係性の分かるよう整理（図示など）した方がよいのではないかと。</p>
事務局	<p>説明不足や分かりにくい箇所は表現方法含めて検討します。</p>
委員	<p>【地域福祉計画について】</p> <p>市の地域福祉計画では、「自助・共助・互助」という考え方で進めています。防災関係についても制度として支援するのであれば「共助」になり、「互助」は住民同士の支え合いを指すものであります。今後は「互助」の考え方も重要であり、そうした考え方も整合性を図って欲しい。</p>
委員	<p>【交流人口・関係人口について】</p> <p>「まちづくりの方針①」について、交流人口の増加とあるが、「関係人口」についても記載すべきではないかと。また、方針②の「リラックス」について「安心」という言葉が分かりやすいのではないかと。</p>
委員	<p>【減災・防災施策について】</p> <p>医療・福祉、防災の施策との横串をしっかりと示しながら施策の検討をして欲しい。例えば、ALS（筋萎縮性側索硬化症）患者の避難訓練も実施すると健常者の方とは違う困難な課題が見えてきます。そうした点も含めたソフト施策を検討して欲しい。</p>

<p>委員</p>	<p>【地方拠点都市構想について】</p> <p>本市における都市整備のあゆみについて、「新産業都市の指定」から急に「中心市街地活性化」の話が出てきた印象があります。</p> <p>経過の中で「地方拠点都市構想」を策定した際に、日向市駅周辺、財光寺駅周辺、ウォーターフロント地区としての港湾地区の3拠点でまちづくりを進めてきたと考えています。</p> <p>そうしたこれまでの成り立ちに関しても考え方を記載して欲しい。</p> <p>言葉の使い方として「最後まで人生の主人公として・・・」という言葉がこの計画の中で書かないといけないか？について疑問に感じます。</p> <p>少子化対策や子育て支援等の国などが政策を進めている分野があることから、あえてこの計画に書かなくてもよいのではないか。</p> <p>【リラックスの概念について】</p> <p>「リラックス」についても「リラックス・サーフタウン」からきているのではないか。リラックス・サーフタウンはあくまでプロモーション的な言葉であり、どこにも明らかにされていない。</p> <p>今後、総合計画等を見直す中でもこのリラックス・サーフタウンの解釈や目指す方向性を明示するよう検討して欲しい。</p> <p>【バス停と居住誘導区域の関係性について】</p> <p>バス運行本数が10本以上というのは「ぷらっとバス」のことであると考えますが、ぷらっとバスの運行本数は来年も変わっていく可能性があり、あまり考慮にいれない方がよいのではないかと考えます。</p> <p>しっかりした根拠づけを持って事務局で検討を進めて欲しい。</p>
<p>委員長</p>	<p>【人口密度計画（コントロール）について】</p> <p>「人口の量」の話も必要であると考えているため検討して欲しい。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご指摘の点を検討します。他部署とも調整を進めながら資料を作成していますが、意見を踏まえ検討・調整を進めます。</p>
<p>委員</p>	<p>【商店会再編等の動向について】</p> <p>現在、市内には商店街、商店会等が5つあります。誘客や商品戦略、コミュニティの場づくりを考えています。</p> <p>商店街・商店会の組織再編が行われており、個店経営を強化していく機運が</p>

	<p>あります。</p> <p>そのため、原案では特定のショッピングセンターを記載しているが、今後は図面表示などを配慮して欲しい。</p>
委員	<p>【区域設定の単位を地区（大字）としては？】</p> <p>800m 圏域で検討しているため日知屋についても大きな病院付近が中心で、商店街が入っていないところでもあります。</p> <p>地域全体（大字の単位）で検討してはどうか？</p>
事務局	<p>具体的な個別名称は、検討資料としての「わかり易さ」を考え、記載しました。</p> <p>今後、計画書を作り込んでいく段階では表現等を検討します。</p> <p>日知屋地区について「どのエリアで区域を定めていくか？」について検討が必要であり、他の委員からも意見をいただきたいところでもあります。</p> <p>今回は分かりやすく圏域でエリアを設定した場合の「たたき台」として資料提示しているが、今後、具体的な区域を設定していきたいと考えています。</p>
委員長	<p>【複合商業施設とは？】</p> <p>都市機能誘導施設として、「複合商業施設」のイメージを教えて欲しい。</p>
事務局	<p>例えば、1 箇所に様々な店舗が集まっているイメージで記載しました。表現など検討が必要と考えています。</p>
委員	<p>【都市機能誘導区域と居住誘導区域の検討について】</p> <p>例えば、日知屋地区について居住機能、行政機能、福利・厚生機能とあるが、商業施設が立地しようとした際に、施設誘導を断るのか、それとも誘致を許容するのか？という考え方の整理が必要ではないか。</p> <p>また、資料の作り方として居住推進区域から設定することになっているが、「都市の骨格像」を描く際には、都市機能から検討していくべきではないか。</p>
委員	<p>日向市は、市域面積5%の中に全人口の8割が住んでいるということで、既にコンパクトな市街地を形成しています。既に贅肉はなく筋肉質の体型と言っている。</p> <p>そのなかで、先進的に将来のまちづくりを計画しているなかで、既存市街地をベースに居住推進区域の検討を進めていき、都市機能の必要性をアプローチしていく考え方は間違いではないと考えます。</p>

<p>委員</p>	<p>【複合施設の立地による活力の向上について】</p> <p>日向市駅周辺は、鉄道高架化や土地区画整理事業を進めながら素晴らしい都市が形成されているところであり、駅自体も高いポテンシャルがあります。</p> <p>県内では、都城市立図書館「Mall mall（まるまる）」は、大変参考になる事例です。既存施設を活用し、都市に必要な機能が集積しています。</p> <p>延岡駅のエンクロスも同様と考えます。商業だけでなく「子育て関連機能」、「教育・文化機能」、「健康増進機能」等の複合施設が実現することで、交流人口の増加につながり、更なる日向市の活力につながっていくのではないかと考えます。</p>
<p>事務局</p>	<p>(3) 今後のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回委員会は令和2年2月28日（金）に開催予定